

**文部科学省 令和5年度「青少年の体験活動推進企業表彰」**  
**森ビル「ヒルズ街育プロジェクト」文部科学大臣賞受賞**  
**街づくりを総合的に学ぶ中期探求プログラムなど、新プログラムへの挑戦を評価**

森ビル株式会社実施する親子向け体験活動プログラム「ヒルズ街育プロジェクト」が、文部科学省主催令和5年度「青少年の体験活動推進企業表彰」にて、最優秀賞である文部科学大臣賞を受賞しました。

同表彰は、「社会貢献活動の一環として、青少年の体験活動に関する優れた実践を行っている企業を全国に広く紹介することにより、青少年の体験活動の機会を推進すること」を目的として、2013年度より実施されています。この度当社が受賞した文部科学大臣賞は、最優秀賞として最も優れた活動を実践している企業に与えられるものです。今回の受賞は、「都市をつくる、それは未来をつくること」という確固たるミッションのもと、2007年のプロジェクト開始から常に進化を続け、今回も「街づくりを総合的に学ぶ中期探求プログラム（みらまちキャンプ）」の実施など、新プログラムへの挑戦が高く評価されたものです。

〈過去の受賞実績〉 審査委員会優秀賞(令和2年度、3年度、4年度)、審査委員会特別賞(平成26年度)、  
審査委員会奨励賞(平成27年度、29年度、30年度、令和元年度)



〈本物の街「ヒルズ」を舞台に展開する「ヒルズ街育プロジェクト」〉



〈「環境」「安全」「文化」、テーマを横断して学ぶ中期探求プログラム「みらまちキャンプ」〉

〈ヒルズ街育プロジェクトとは〉（後援：文部科学省、港区教育委員会）  
創業から60年にわたり地域の方と共に街づくりを推進してきた当社が、未来を担う子どもたちに、街づくりのノウハウや街の魅力を伝えるとともに、楽しく学びながら次世代の都市のあり方を考える「体験学習プログラム」です。六本木ヒルズなど、当社が開発・運営する実際の“街”を舞台に、当社が街づくりで大切にしている「環境・緑」「安全・安心」「文化・芸術」をはじめとした多様なテーマでプログラムを展開。一般公募によるプログラムだけでなく、近隣小学校における総合学習のカリキュラムとしての出張授業や、全国の小学校から高校を対象とした受入れ授業なども積極的に実施しています。なお、2007年の開始以降、開催は約550回、参加者数は延べ18,000名を数えます。

森ビルは今後も引き続き、六本木ヒルズや麻布台ヒルズなど本物の“街”を“生きた教材”として活用した体験活動を積極的に推進し、未来を担う子どもたちの無限の可能性を拓きながら、また子どもたちに寄り添い、共に学びながら、「都市」と「未来」を切り拓いてまいります。

【本件に関するお問合せ先】

森ビル株式会社広報室 山崎・伊沢・鈴木

TEL : 03-6406-6606 FAX : 03-6406-9306 E-mail : koho@mori.co.jp

## 従来のプログラムを刷新、テーマ横断型の中期探求プログラム「みらまちキャンプ」を初開催

従来型の「ヒルズ街育プロジェクト」は、「環境」「安全」「文化」などの単一テーマについて学ぶ、1 時間程度で完結するプログラムです。2022 年度に新たに取り組んだ「みらまちキャンプ」は、オンラインとオフラインを併用した全 5 回、約 1.5 カ月間にわたり、3 つのテーマを横断的に学ぶとともに、子ども同士のコミュニケーションも促進しながら、共に未来の街づくりについて考える中期探求プログラムとしました。

「みらまちキャンプ」の期間中は、少人数のグループを結成し、子どもたちがお互いに意見を出し合い、多様な意見を取り入れながら、自分たちでアイデアをかたちにしていくステップを踏んでいきます。オンラインプログラムでは、「緑に溢れた街づくり」や「災害に強い安心・安全な街づくり」などについて、森ビル社員が務める講師とともに学習しました。一方、オフラインプログラムでは、普段は入ることのできない六本木ヒルズの屋上庭園や備蓄倉庫の探検や、森美術館でアートに触れることなどを通じて、街づくりの醍醐味や奥深さを体感します。プログラムの最後には、グループごとに考えた「理想の街」を発表しました。また、発表内容は六本木ヒルズ内で展示し、街を訪れる方々にも御覧いただきました。さらに、展示を見た人の感想を子どもたちにフィードバックすることで、プログラム終了後も子どもたちが継続的に学習・行動する意欲を維持することに繋がっています。



他者の意見を取り入れながら、  
アイデアをかたちにしていくワークショップ



グループごとに考えた  
「理想の街」を発表



六本木ヒルズ内に展示された  
各グループの「理想の街」

## 「イノベーションの体験」という新たなテーマに挑戦したプログラムを初開催

虎ノ門ヒルズ ビジネスタワー4 階にある、大企業の事業改革や新規事業創出をミッションとする組織に特化して構想されたインキュベーションセンター「ARCH」で、新しい商品・サービスを考える面白さを体験する新プログラム「ARCH でイノベーション体験！ 未来を考える発明家になろう」を初開催しました。

本プログラムでは、子供たちに楽しみながら「イノベーション」を身近に感じてもらい、新しいものをつくりだすことや未来を考えることへの興味・関心を高めてもらうことを目的に、「イノベーションの体験」という新たなテーマに挑戦。昨今の社会課題を踏まえたテーマを新たにヒルズ街育プロジェクトに追加しました。

虎ノ門ヒルズを探検して、虎ノ門という街の変遷や ARCH 誕生の背景について学んだ後に、「未来をもっと楽しくする」というテーマで、新しいアイデアを創り出すワークショップを実施。参加者がチームに分れ、ARCH 運営スタッフや参画企業のサポートを受けながら、思いついたアイデアを付箋に書いてボードに貼り、チーム内で出たアイデアについて議論・評価、最後には参加者の前でプレゼンテーションを行いました。



虎ノ門ヒルズを探検



アイデアを付箋に書き、チームで議論・評価



出たアイデアをプレゼンテーション